

講義名	中小企業論			授業形態	
担当教員	岡田 恵実	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

### 主題と概要

中小企業は、企業数で全体の99.7%、従業員数も全労働人口の約70%を占めている。日本経済において重要な存在です。この授業では、中小企業の定義や歴史、大企業との比較等の基礎知識、多様性ある中小企業の姿、中小企業の経営課題とその対応、中小企業支援、という4つの視点から中小企業について学んでいきます。積極的に事例を取り上げ、具体的な中小企業像をイメージできるよう進めていきます。オンラインで中小企業の経営者や支援者にも登壇してもらう予定です。

### 到達目標

1. 中小企業とは何か、日本経済における中小企業の役割を理解し説明できる
2. 多様な中小企業の姿を知り、具体的な事例を説明できる
3. 中小企業の経営課題とその対応に向けての取組みを理解し説明できる
4. 自分なりの中小企業観を持つことができる

### 提出課題

1. 今日の授業の学び  
各自、「今日の授業の学び」（当該授業に関連した問いへの考え）をレスポンドで提出してもらいます。
2. 中間ミニレポート  
中間期にミニレポートをレスポンドで提出してもらいます。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

個別でのフィードバックは行いません。授業の中でいくつか紹介していきます。

### 評価の基準

1. 出席、授業姿勢、各自で提出する「今日の授業の学び」 45%
  2. 出席及び「今日の授業の学び」の提出回数が過半数であることを単位取得の必須条件とします。
  3. 中間ミニレポート 15%
  4. 期末定期試験（レポート） 40%
- 期末定期試験（レポート）の提出を単位取得の必須条件とします。
- 評価項目の内容や評価割合を変更することがあります。その場合は授業及び講義連絡でお知らせします。

### 履修にあたっての注意・助言他

中小企業は、私たちの生活に密着した商品やサービスの提供を行っています。また、中小企業の中には、世界市場の獲得につながる先端技術を活用していたり、様々な地域の資源を活用して事業を行っている企業が多く存在しています。そのような中小企業に関わる情報は、新聞やTV、ネット等を通じて日々発信されていますので積極的に触れてください。これらの自ら得た情報が授業で学んだこととつながり、中小企業を身近に感じ、より深く理解できるようになります。

### 教科書

.使用しない。

### 参考図書


### その他

- ・レジュメは講義連絡を通じて事前配布します。
- <参考文献>
- 『中小企業・ベンチャー企業論ーグローバルと地域のはざままでー 植田浩史他』
- 『中小企業白書・小規模企業白書』中小企業庁編（2020年・2021年版を中心に）

### 授業計画

1. ガイダンスとイントロダクション（中小企業とは何か？）
2. 中小企業に関する基礎知識（中小企業の変遷など）
3. 中小企業に関する基礎知識（大企業と中小企業、地域における中小企業）
4. モノづくり系中小企業（これまでの動きと変化）
5. モノづくり系中小企業（新たな取り組み）
6. 商業系中小企業と地域づくり
7. 社会課題をビジネスで解決する中小企業
8. 中間のまとめ
9. 創業・起業
10. ベンチャー企業
11. 中小企業の経営課題とその対応（生産性・収益性向上など）
12. 中小企業の経営課題とその対応（事業承継など）
13. 中小企業の経営者
14. 中小企業支援政策と支援現場の実情
15. 全体のまとめ

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習では、毎回配布するレジュメを事前に読むとともに、関連する内容についてインターネット等で調べてみてください。復習では、授業中に強調されたところを中心に、レジュメを読み返し、理解を深めてください。参考文献なども確認するとよいと思います。予習、復習ともそれぞれ2時間を想定しています。

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- ・中小企業とはなにか、また、中小企業をとりまく動向や課題などを理解するための基礎知識を身につけ、これらをもとに、中小企業や中小企業経営に関する問題探索と課題について自ら提案ができる。
- ・中小企業について多角的に学ぶことを通じて、新しい視点と豊かな発想から中小企業が新しい価値を生み出すことに気づき、新たに中小企業の価値を自ら定義することができる。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中レスポンドを活用して、問いを出したり、意見集約等を行うことを想定しています。

### 実務経験の有無及び活用

実務経験あり  
大学卒業後、国の中小企業支援機関を中心に20年超勤務してきました。その中で、起業に関心を持つ人たちの数を増やす取り組みや起業支援、中小企業のコンサルティング業務などに関わってきました。経済産業大臣認定・中小企業診断士。

### 備考
